

係	係長	課長補佐	課長	部長

会 議 録	
会議名	第 10 回日野市地域公共交通会議
日時	平成 22 年 12 月 15 日（水）10:30 から 11:50 まで
会場	日野市役所本庁舎 101 会議室
出席者	委員 別紙のとおり
	事務局 都市計画課 多田課長、小俣係長、大野主査、谷口主事
	コンサル セントラルコンサルタント 水澤氏、沼賀氏
議題	<p>議事</p> <p>(1) ミニバス再編について（報告事項）</p> <p>(2) ワゴンタクシー見直しについて（協議事項）</p> <p>(3) 川辺堀之内路線実証運行について（協議事項）</p> <p>(4) 今後のスケジュールについて（協議事項）</p> <p>(5) 事後評価について（協議事項）</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0 名
<p>京王電鉄バス株式会社より、ミニバス旭が丘循環路線の事故について謝罪</p> <p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ（谷井会長）</p> <p>事務局より報告 人事異動などに伴う委員の変更の報告（事務局） 国土交通省相武国道事務所調査課長 高森 治 様</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) ミニバス再編について（報告事項） 事務局（都市計画課 大野主査）から説明（資料 1）</p> <p><意見、質問等> 藤田委員 ・ラウンドダイヤによる影響かバスの運行が荒いように感じる。安全運転への対応はどうか？</p>	

- ・バス停の時刻表について、点字表記の対応は実施しているか？
- ・横断防止柵の整備を実施したとあるが、バス乗降口の開口部の幅は、車椅子利用等に対して適切か？
 - ⇒・定時制も重要だが、安全性が最優先である。京王と連携し、バランスを勘案しながら適切な運行を図るように調整する。
 - ・バス停の時刻表等の点字対応はしていない。点字や音声案内などは今後の課題と考えている。
 - ・基本的には、様々な車種にあわせて開口部は余裕を持たせているが、実際に現地にて確認する。
(回答：事務局)
- ⇒・ダイヤについては、随時チェックし、必要であれば見直しも検討する。
- ・音声案内などは、システム等の問題もあるが、今後検討していく。
- ・開口部への正着などの運転技術については、乗務員への指導を行っていく。
(回答：京王電鉄バス)

藤田委員

全ての障害者がガイドヘルプを利用できるわけではない。また、自分で移動したいと考える方もいる。従って、移動についての選択肢が広がるのが良いことと考える。

(2) ワゴンタクシー見直しについて（協議事項）

事務局（都市計画課 大野主査）から説明（資料2）

<意見、質問等>

特になし。

<議決>

谷井会長

- ・ワゴンタクシー見直しについて異議ないか。
《異議なしの声》
- ・ワゴンタクシー見直しについて承認した。

(3) 川辺堀之内路線実証運行について（協議事項）

事務局（都市計画課 大野主査）から説明（資料3）

<意見、質問等>

藤田委員

朝夕の増便が望まれている。対応について検討は行っているか。

⇒昨年実施したアンケート調査でも、始終発延長の要望は多くいただいている。今秋のミニバス再編による効率化によって、新たな路線の開設や既存路線の増便を検討したいと考えている。再編の検証を来年度に実施する予定である

ため、その中で川辺堀之内路線の増便についても検討したいと考えている。

<議決>

谷井会長

- ・川辺堀之内路線実証運行について異議はないか。
《異議なしの声》
- ・川辺堀之内路線実証運行について承認した。

(4) 今後のスケジュールについて（協議事項）

事務局（都市計画課 大野主査）から説明（資料4）

<意見、質問等>

特になし。

<議決>

谷井会長

- ・今後のスケジュールについて異議ないか。
《異議なしの声》
- ・今後のスケジュールについて承認した。

(4) 事後評価について（協議事項）

事務局（都市計画課 大野主査）から説明（資料5）

<意見、質問等>

特になし。

<議決>

谷井会長

- ・事後評価について異議ないか。
《異議なしの声》
- ・事後評価について承認した。

4. その他

ミニバスパンフレットの正誤表について

事務局（都市計画課 大野主査）から説明（参考資料）

<意見、質問等>

特になし。

吉田委員からのご意見

- ・ミニバス再編について、再編前後の利用者数の比較の報告があったが、
昨年11月との比較を行ってはどうか？
また、利用者数が減少している三沢台路線、旭が丘循環路線は調査検討が必要か
と思われるが、短期ではなく数ヶ月の結果で判断すべきである。
しかし、今回の調査結果では、総利用者数はプラス傾向ということで上々の滑り
出しといえる。
- ・バリアフリーの観点から、横断防止柵の開口部は十分な余裕があると良い。(日野
駅の開口部は狭い) 運転技術なども含めて検討願いたい。時刻表について、特に
ターミナル機能を持つ停留所ではもっとわかりやすさを表現すべきである。
色分けだけでなく、文字情報での表記も重要である。
- ・利用者の増加を効率的に図るには、春(4月)に情報提供することが効果的で
ある。

(事務局)

事業については、今後のスケジュールに基づき随時実施していく。事後評価に
ついては、書面協議の準備を進めていく。

ミニバス、ワゴンタクシー各分科会について、平成21年度に引き続き実施して
いくことを説明。

5. 閉会